

# 輸出食肉処理施設機能高度化事業

【令和6年度予算概算決定額 150（-）百万円】

## <対策のポイント>

輸出に取り組む食肉処理施設等における処理機能の強化を図り、輸出機会を最大限取り込める体制を構築するため、①高度な加工処理に対応した施設・設備の整備、②労働力不足を補完する省力化施設・設備の整備、③国内向けカット機能を外部施設に移転する等の取組を支援します。

## <政策目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

### <事業の内容>

### <事業イメージ>

#### 1. 高度な加工処理に対応した施設・設備の整備支援

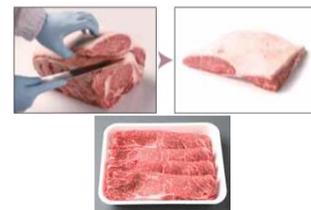
多様化・細分化するニーズに対応するため、輸出に取り組む食肉処理施設等における、小割肉やスライス肉等の高度な加工処理に対応した施設・設備等の整備を支援します。

#### <1の支援>



小割加工

スライス加工



多様なニーズへの対応

#### 2. 省力化施設・設備の整備支援

労働力不足を補完し、高度な食肉処理機能の強化を図るため、輸出に取り組む食肉処理施設における省力化施設・設備の整備を支援します。

#### <2の支援>



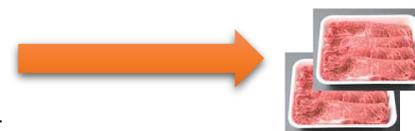
省力化（自動化）機械を導入

人手を補完しオーダーに対応

#### 3. 国内向けカット機能の外部移転の取組支援

輸出向け仕向量を増加させるため、輸出に取り組む食肉処理施設における、国内向け部分肉・小割加工を行う機能を外部施設等に移転する等の取組を支援します。

#### <3の支援>



輸出向け加工を増加

労働力の多い消費地で国内向けを加工

国内向け生産能力の一部を分離

消費地における国内向けカットセンターの整備

食肉処理機能の強化と輸出拡大

## <事業の流れ>

